

豊かで幸せな人生を、天然成分100%の香りですपोर्ट

■人を内面から生き生きさせる香りの力に注目

一般社団法人日本アロマパルファンヌ協会は、「天然アロマ調香」の技術とサービスの普及を目的として、2012年に設立された。「アロマ」は香り、「パルファン」は香水の意味だ。

協会の活動を率いるトップ調香師の太田奈月さんは、美容の勉強をしにカナダに留学していた1996年、まだ日本では知られてなかったアロマセラピーに出会った。内面から人を生き生きとさせる香りの力に注目し、イギリスに渡りホリスティックアロマセラピーを学ぶ。

帰国後スクールを設立するとともに、天然素材100%の香水を開発。人ごとに独自の香りを導くカウンセリング技術も確立した。その人に最適な香りIIパーソナルアロマは、セッション（カウンセリング）によって、これからどう生きたいのか、どういう場面で香りを活かしたいかをいっしょに考え、香りの素となる植物（花、果実、葉、種、苔など）の写真を見て何に惹かれるか、そうしたいくつかの答えからその人の生きる力を後押しする、意味のある香りを生みだす。「香水の匂いは苦手」と敬遠していた人ほど、セッション体験後にファンになる人が多いそうだ。

■第二、第三の人生の扉を開くお手伝い

太田さんが校長を務めるアクトインターナショナルスクールでは、生涯学習開発財団が認定するアロマパルファニストの資格のほか、アロマセラピーの基本を学ぶAEAJ認定資格、世界最高水



体験レッスン、セッション、講座受講等については、Webサイトをご参照ください。

写真：幡原裕治

●一般社団法人

日本アロマパルファンヌ協会

〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2-10

ストリーム市ヶ谷8F

TEL：03-5579-8876

E-mail：info@aroma-parfumne.com

URL：aroma-parfumne.com

2012年7月 設立

2016年10月 協賛会員登録



取材にご対応くださった、協会理事でNatsuki Ohta Japan グループ代表の太田奈月さん。

準の資格とされるIFA国際アロマセラピスト資格が取得可能だ。さらに資格を生かして仕事をしたい人をフォローする、サロン開業のための各種講座も提供している。

香りに興味がある女性が多いが、仕事にしようとしたとき、マッサージを伴うアロマセラピーは、体力や施術スペース、さらに他人の肌に触れる心理的なハードルもあり、二の足を踏む人多い。しかし、アロマパルファニストとして仕事を始める場合は、そうした心配はない。多くの人が香りを通して第二、第三の人生の扉を開いており、協会はその後押しをしている。

■地域貢献や日本文化発信の取り組み

太田さんの実家は静岡の日本茶生産農家で、茶葉を蒸すときの香りが子供の頃から大好きだったという。日本茶の消費が減少する中、茶葉の香りを香水にできれば、地域の美しい茶畑を守る農家の支援ができるのではないかと考えた。蒸気から香りを回収する特許技術を開発し、2016年に世界初の日本茶から抽出した天然アロマを発売。香水の本場は西洋だが、逆に日本文化の一端を世界に発信する役割も担っている。

スクール卒業生たちと協力し、アロマセラピーを社会に役立たせる活動にも積極的に取り組む。医療・介護・リハビリ施設でのアロマトリートメントは11年続く。ほかにも、妊婦へのトリートメント、住宅の香り提案、ミス・ユニバースジャパンの香水指導など、可能性を広げている。